

熊本銀行が「わくわく油田プロジェクト (以下、油田プロジェクト)」に参画しました!

2023年7月24日、熊本銀行本店で油田プロジェクト参画開始式典が開催され、行内で収集した廃食油を提供しました。

熊本銀行では、地域の持続的な発展に向け、地域が抱える社会問題や環境問題を解決すべく、油田プロジェクトへの参画を開始しました。熊本銀行役職員家庭の廃食油を収集、提供する活動を通じて、CO₂削減に貢献し、地域のカーボンニュートラル実現を目指しています。

油田プロジェクトの概要

油田プロジェクトは、熊本いにくに県民発電所株式会社(熊本銀行本店お取引先)、株式会社未来樹(植木支店お取引先)が運営する取組みで、廃食油を回収し、環境負荷の少ない良質な高純度バイオディーゼル燃料(以下、BDF)として生まれ変わらせるプロジェクトです。

BDFは、軽油代替燃料として、一般車両や、工事車両などに利用されています。植物由来の食

用油が原料であることから、燃焼時に排出されるCO₂は植物が成長過程で大気中から吸収したCO₂が排出されるため、CO₂の排出量はゼロとしてカウントできる環境に優しい燃料です。

熊本銀行の取組み

熊本銀行は、油田プロジェクトの、熊本で集めた廃食油を燃料に再生し、さらに再生した燃料を熊本で消費していく、燃料の地産地消と言える取組みに共感したことがきっかけとなり、参画に至りました。

熊本銀行では、行内のSDGs取組みとして、役職員家庭の廃食油を収集、提供することにより油田プロジェクトに参画します。

熊本銀行本店ビル、植木支店、武蔵ヶ丘支店、合志支店、菊陽支店、菊南支店に勤務する役職員約400名を対象に開始しました。

開始から2ヶ月間に集められた廃食油は57ℓで、これにより削減されたCO₂の相当量は105kg・CO₂となりました。(※)

熊本銀行は今後も取組みを継続し、持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

※100kg・CO₂は、ガソリン車で約360km走ったときに排出するCO₂の量に相当。



収集した廃食油(熊本銀行本店ビル)



廃食油の受け渡し(熊本銀行植木支店)



株式会社未来樹が廃食油を回収する様子